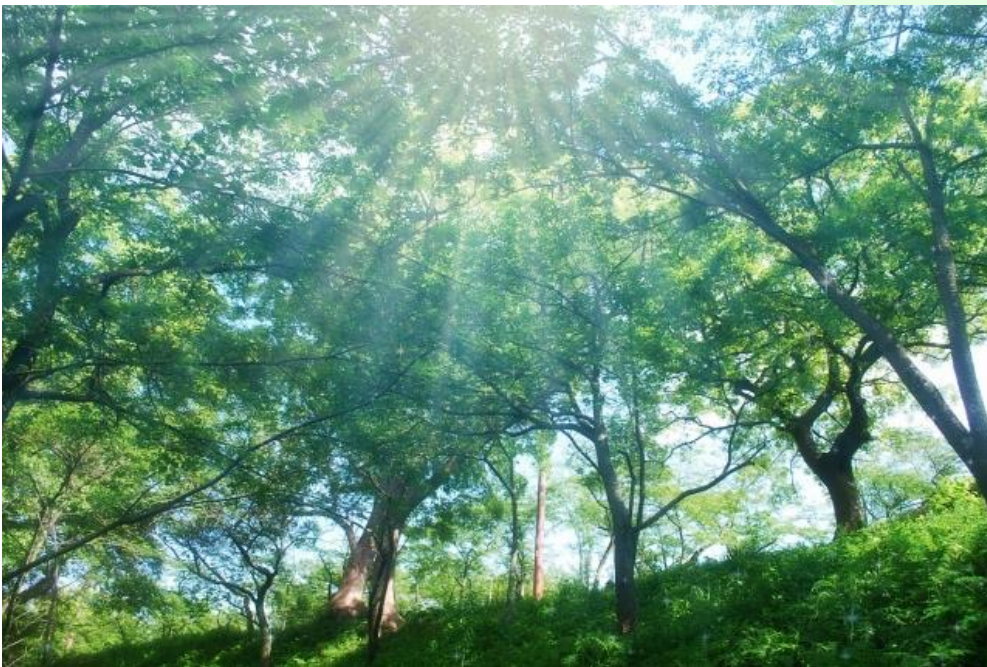


連携[🍀]だより^{🍀🍀}

No.16

2016.7



外来受付時間のご案内

■受付時間 午前8時30分～11時

（総合受付① 初診受付へお越し下さい）

※ただし、診療科によって受付時間が異なる場合があります。
診療部各科外来担当医師表内の注意点をご覧ください。

Contents

特集 呼吸器内科のご紹介

P.3-4

- ・巻頭のご挨拶 副院長 野間 重孝 P.2
- ・診療科のご案内 P.5-8
- ・第2回済生会宇都宮病院地域連携合同カンファランス開催のご報告 P.9
- ・「とちまるネット」のご紹介 P.10

済生会宇都宮病院理念

1. 医療サービス提供者として次の基本を守ります

- ・安全で信頼性のある医療を提供します
- ・医療を受ける方への権利と尊厳を尊重し、満足度の向上に努力します

2. 地域基幹病院として次の役割を果たします

- ・地域医療の向上に貢献します
- ・地域の医療福祉機関と密接に連携し、地域から頼られる存在になります

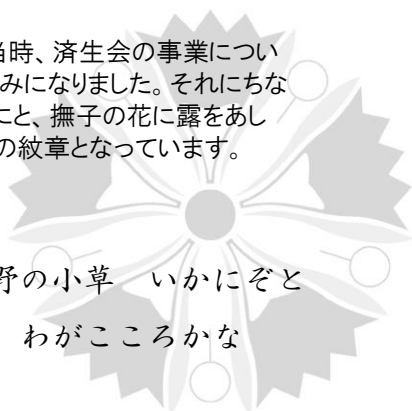


故名誉総裁
高松宮宣仁親王妃喜久子殿下 御書

初代総裁 伏見宮貞愛親王殿下は、創立当時、済生会の事業についてのお心を次のような「撫子の歌」としてお詠みになりました。それにちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花に露をあしらったものが、大正元年(1912)から済生会の紋章となっています。

撫子の歌

露にふす 末野の小草 いかにぞと
あさ夕かかる わがころかな



巻頭のご挨拶

連携医の皆様へ



済生会宇都宮病院

副院長(兼)地域連携部門長

循環器内科

野間 重孝

梅雨を前に毎日暑い日が続いておりますが、先生方におかれましては、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本年4月より前連携部門長 小林健二 が院長に就任いたしましたことを『連携だより』臨時号でお知らせいたしました。その後任として4月より地域連携部門長を拝命いたしました。医療を取り巻く環境がかつてない速度と規模で変化するなか、地域連携の重要性はますます高まっていると考えます。そうしたなか、前任の小林も強調しておりましたように、本院は高度急性期病院としての外来機能、入院機能を中心に紹介・逆紹介を通じて地域医療に貢献していかなければなりません。わたくしは、地域連携部門での仕事は今回がはじめてであり、不慣れなこともありますことから、いろいろと至らない点もあるかと存じますが、微力ながら地域連携のさらなる緊密化へ全力を尽くす所存です。先生方からのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。なお『連携だより』でご挨拶する前に、5月中に先生方に緊急のお願いの手紙を送付いたしました。どうしても早くお願いしなければならない内容であった点をご理解いただき、失礼の段、ご容赦いただきたいと存じます。

昨年度は救急の受け入れに注力いたしました結果、救急車台数、救急入院数、連携医からの緊急入院数が6%～10%増加いたしました。今後もこのような流れを大切にし、医療機能を重視した連携を心掛けてまいりたいと存じます。

さて、本院が現在の地に移転してまいってから今年で20年になりました。その間の医療機器の発達は質的にも量的にも目を見張るものがありました。また本院で行われる手技の種類も増加いたしました。

結果として、現在本院はかなり手狭な状態になっております。その中でも特に問題であるのが、手術室の部屋数の不足とICU/CCU拡充の問題です。これは本院が高度急性期病院として地域貢献してまいりためにも早急に改善する必要のある問題であると考えられます。この問題を解決するため、本院では平成28年夏より病院南西部に接続する増築棟を建設する予定です。新棟には外来化学療法室、入院サポートセンター、口腔ケア、講堂などを配置し、この完成を待って本館ICU/CCU、手術室の改修を行い、さらなる高度で良質な医療の提供と患者サービスの向上にはかつてまいりたいと考えております。竣工の折には、本誌を通じて先生方にお披露目いたしたいと存じます。

先日の手紙でお願い申し上げた点について、この場を借りまして再度お願いさせていただきます。厚生労働省の指導により、特別な場合を除き、30日分を越える処方箋の発行ができなくなりました。このため先生方に不足分処方箋の発行をお願いできないかとお頼みしたのが、手紙の主旨でございました。これは大変に失礼なお願いであったことは充分承知しておりますが、混乱回避のため、ご助力、ご高配を賜りたく、再度お願い申し上げます。

なお本号におきましては、改めまして本院の各科紹介を特集いたしました。ご紹介いただく折りのご参考に供していただければ幸いです。

連携医の先生方におかれましては、今後ますますご活躍いただきますよう祈念申し上げますとともに、今後とも本院へのご指導、ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

呼吸器内科のご紹介



後列：仲地 一郎 医師、正木 克宜 医師、千代谷 厚 医師、高橋 秀徳 医師
前列：櫻井 香 医師、荒井 大輔 医師 ※左から順に

済生会宇都宮病院診療部呼吸器内科は、呼吸器内科専門医5名とレジデント1名の計6名にて構成されています。今回は当科のご紹介とともに、診療実績データから呼吸器疾患の最近の動向を読み解いていきたいと思います。

●呼吸器内科へようこそ

はじめに、当科の診療体制は平成28年4月より大きく様変わりました。荒井大輔先生がスタッフとして、更には櫻井香先生が呼吸器内科レジデントとして新たに加わりました。人員の充実とともに、各施設の皆様方とこれまで以上に強い連携を構築していきたいと考えています。呼吸器は気道という“ひとつ”の臓器ではありますが、感染症、免疫異常、悪性新生物など病因が多岐にわたり、発症様式も超急性期から慢性疾患まで様々です。総合病院における呼吸器内科医としては、まずはこれら多種多様な疾患群に臨機応変に対応する柔軟性が必要です。そのうえで、全身を診る総合診療的な視点を持ちながら専門性を発揮する姿勢が求められていると感じています。やはり経験と体力が必要ということでしょうか。当科には経験豊富な呼吸器専門医から、やる気あふれる新進気鋭の若手医師まで多彩なスタッフが揃っていると自負しています。

●入院診療実績からみる呼吸器疾患の傾向

右ページの別表に当科入院診療実績を示しました〔表1〕。頻度の高い疾患から稀な疾病まで、多様な呼吸器疾患を多数ご紹介いただいていることが分かります。これは県救命救急センターかつ地域がん診療連携拠点病院でもある当院の特性を考慮すれば然るべき結果と考えます。当科としては、呼吸器外科や総合内科、放射線科、緩和ケア科など院内各科と連携を密に取り、どのような呼吸器関連疾患にも対応できるよう日々心がけています。

今回は数ある呼吸器疾患の中から肺癌を取り上げました。近年わが国では肺癌が急増していることはご承知の通りですが、当科診療においてもやはり肺癌が一番多くなっています。肺癌には固有の症状がないため、患者のみならず診察した医療者でさえ気づかない間に病勢が悪化し、進行期となって初めて発見されるケースも多くみられます。当院には毎週複数の肺癌患者様が紹介され、その数は明らかに増加していますので、日常診療において皆様が肺癌に遭遇する機会も増えているのではないかと推察されます。胸部X線検査を定期的に御施行いただき、肺癌が疑われる症例がありましたらどうぞ当院まで速やかにご紹介ください。CTスキャン、気管支鏡などさらに踏み込んだ検査を迅速に施行いたします。

進行期の肺癌は、いまだに難治性であり予後不良の疾患と言わざるを得ません。しかしながら、主に薬物領域において予後を改善させる治療法が近年急速に発展してきています。従来からある抗癌剤はもとより、遺伝子変異に基づいた分子標的薬治療は、複数薬剤が処方可能になりました。更には、癌細胞を直接攻撃せずに体内の免疫担当細胞の働きを後押し、癌を制御するという免疫療法も新たに保険診療に加わりました。このように肺癌診療は個々に治療戦略を立てる時代に様変わりし、起こりうる合併症、副作用もまた複雑になりました。癌のみを診ていれば済む時代は過ぎ去り、全身を診る総合診療のスキルが今まで以上に必要とされ、医師が負う責任は益々大きくなるばかりです。肺癌入院数が多いという事実は、肺癌治療新時代を迎えて、深く・長く患者様に関わるようになった近年の癌診療の傾向を如実に反映しているものと考えられます。

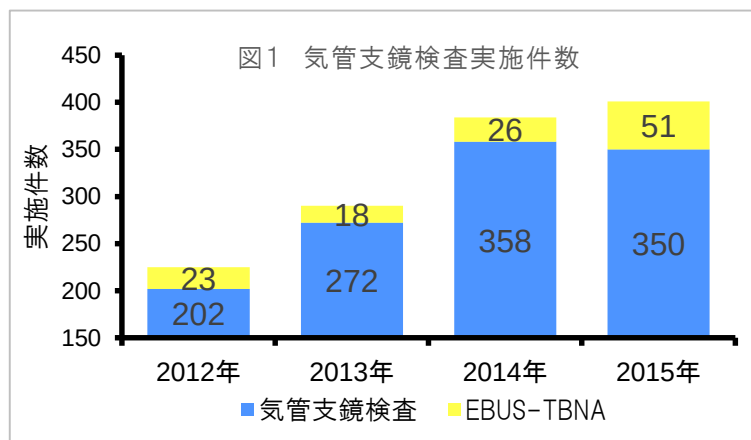
表1 呼吸器内科入院診療実績

疾患名	2012年	2013年	2014年	2015年
肺癌・転移性肺腫瘍	310	310	413	441
肺炎・気管支炎	192	262	240	324
肺膿瘍・膿胸・胸膜炎	19	21	24	40
抗酸菌感染症	5	4	4	20
気管支喘息	39	23	21	21
慢性閉塞性肺疾患	14	21	14	17
気管支拡張症・びまん性汎細気管支炎	8	5	4	6
間質性肺炎	73	83	78	91
気胸	10	9	6	9
その他	70	52	68	80
合計	740	790	872	1049

●気管支鏡検査について

当院での気管支鏡検査実施件数は近年増加しています〔図1〕。その一因は、実臨床に最前線で携わる皆様より以前にも増して多くの症例をご紹介いただいているお蔭さまで。当院では、呼吸器内科・外科で共同し、経験豊富な医師と習熟した内視鏡室看護師とでチームを組み、安全性に留意しながら気管支鏡検査を週2回行っています。

最近ではEBUS-TBNA(超音波気管支鏡ガイド下針生検)も積極的に行っています。胸部レントゲンでは異常は見られないものの、EBUS-TBNAによる組織診断で悪性腫瘍との診断に至った例も経験しています。適切な検査によつて的確な診断に至り、各科と連携を取りながらスムーズに治療に移行できることは総合病院の強みだと思います。悪性腫瘍に限らず、多種多様な呼吸器疾患に対してこの気管支鏡検査を今後も積極的に行い、迅速かつ正確な診断を得る努力をしていきたいと考えています。



●おわりに

地域医療を担う総合病院の一診療科として、患者様に安心して受診していただけるようスタッフ一丸となって診療に関わらせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



筆者紹介

診療部 呼吸器内科 主任診療科長

なかち いちろう

仲地 一郎 医師

《学会専門医等》

日本内科学会 総合内科専門医

日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医

日本呼吸器学会 呼吸器内科専門医

医学博士

各診療科専門領域のご紹介

循環器内科



主任診療科長
八木 崇

- 虚血性心疾患
- 心不全
- 弁膜症
- 先天性心疾患
- 不整脈

神経内科



主任診療科長
富保 和宏

- 脳卒中
- 認知症(アルツハイマー病・びまん性レビー小体病・前頭側頭型認知症など)
- 神経難病(パーキンソン病・重症筋無力症・筋萎縮性側索硬化症など)
- てんかん

上記以外にも幅広く神経疾患に対応させていただきます。
筋電図・脳波・平衡機能検査などの生理機能検査等もご相談頂きたいと
思います。

血液・リウマチ科



主任診療科長
増田 義洋

- 造血器腫瘍
- 造血障害
- 出血傾向
- 自己免疫性血球減少症

消化器内科



主任診療科長
田原 利行

- ウィルス性肝炎(C型・B型)
- 炎症性腸疾患
- 肝硬変
- 肝細胞癌

上記以外幅広く対応しています。

腎臓内科



主任診療科長
大久保 泰宏

- 腎臓検診異常の精査
- 慢性腎臓病の治療方針決定
- ネフローゼ症候群
- 急性・慢性腎不全
- 透析導入

呼吸器内科



主任診療科長
仲地 一郎

- 肺癌
- 肺炎・胸膜炎
- 間質性肺炎
- 気管支喘息
- 慢性閉塞性肺疾患

糖尿病・内分泌内科



主任診療科長
藤田 延也

- 糖尿病の急性期から慢性合併症まで
教育入院、インスリン導入など
- 甲状腺、下垂体など内分泌疾患

一般外科



主任診療科長
篠崎 浩治

【専門領域】消化器外科・乳腺外科

【特長】

- 良性疾患から悪性疾患まで、消化器疾患を中心に幅広く診療
- 内視鏡診断から内視鏡治療、手術治療まで一貫して総合的に診療
- 腹部外科救急疾患には、全例に責任を持って対応
- 悪性疾患では、食道癌・胃癌・大腸癌…等
良性疾患では、胆石癌・鼠径ヘルニア…等に内視鏡外科

呼吸器外科



主任診療科長
田島 敦志

- 肺癌
- 気胸
- 縦隔腫瘍、胸腺腫
- 胸壁腫瘍
- 胸部外傷

整形外科



主任診療科長
岩部 昌平

- 関節外科／人工関節（膝関節、股関節、肩関節、肘関節）
- 手外科
- 脊椎・脊髄外科
- 外傷／難治性骨折

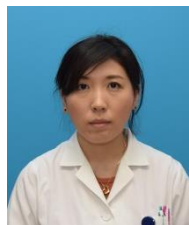
脳神経外科



主任診療科長
中務 正志

- 脳血管障害手術（脳動脈瘤・能動静脈奇形・動脈狭窄など）
- 脳腫瘍手術（頭蓋底、脳室内など高難度腫瘍も含む）
- 脳血管内治療（脳動脈瘤・頸動脈狭窄など）
- 神経内視鏡手術（下垂体腫瘍・水頭症など）
- 急性脳梗塞に対する血栓回収療法
- 悪性脳腫瘍に対する化学療法

形成外科

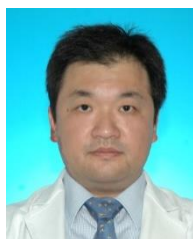


主任診療科長
越智 勉

主に、体表面の形態や機能異常を治療する科です。

- 顔の外傷、顔面骨骨折 ● 先天異常(副耳、合多指症など)
- 皮膚・皮下腫瘍、軟部腫瘍(ほくろ、血管腫、脂肪腫など)
- 傷あと、ケロイド ● 腫瘍切除後、外傷後の修復・再建
- その他(眼瞼下垂症、睫毛内反症、陥入爪、難治性皮膚腫瘍など)

心臓血管外科



主任診療科長
橋詰 賢一

- 大動脈瘤に対するステントグラフト治療
- 急性大動脈解離への開胸及び
ステンドグラフトを用いたハイブリッド治療
- 放射線科と連携LIVRで抹消血管の治療
- 僧帽弁形成術

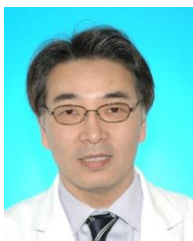
小児科



主任診療科長
高橋 努

- 小児科全般
- 先天性心疾患
- 川崎病
- てんかん
- 新生児(在胎28週から)
- 子ども虐待、レスパイト入院、病児保育

産婦人科



副院長(兼)
主任診療科長
飯田 俊彦

- 内視鏡手術(腹腔鏡、子宮鏡)
- 不妊治療(体外受精含む)
- 悪性腫瘍治療
- 自然分娩(バースセンター)

耳鼻咽喉科



主任診療科長
新田 清一

- 耳科手術(鼓室形成術、人工内耳術、アブミ骨手術など)
- 聴覚医療(補聴器、人工内耳、小児難聴、耳鳴など)
- 頭頸部腫瘍(手術、放射線治療、化学療法など)

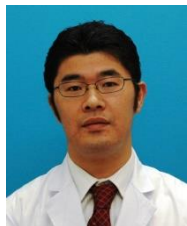
眼科



主任診療科長
松原 忠之

- ぶどう膜炎
- 白内障
- 網膜硝子体疾患
- 緑内障
- 斜視、弱視

皮膚科



主任診療科長
横倉 英人

- 皮膚癌
- 皮膚良性腫瘍
- アトピー性皮膚炎
- 乾癬
- 皮膚感染症

泌尿器科



主任診療科長
戸邊 豊総

- 泌尿器癌(腎癌・膀胱癌・前立腺癌・精巣癌)の集学的治療(手術・化学療法・放射線療法)
- 副腎腫瘍手術(腹腔鏡手術)
- 尿路結石治療(内視鏡レーザー手術、体外衝撃波破碎術)
- 排尿障害治療(薬物療法・手術療法)
- 骨盤性器脱
- 尿路精器外傷

総合内科



主任診療科長
泉 学

リハビリテーション科



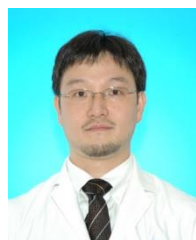
主任診療科長
中澤 征人

精神科



主任診療科長
佐藤 耕一

救急科



救命救急センター長
(兼)主任診療科長
宮武 諭

健診診療科



主任診療科長
福田 実

麻酔科



主任診療科長
植野 正之

放射線科



主任診療科長
谷村 慶一

集中治療科



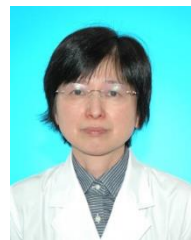
主任診療科長
阿野 正樹

緩和ケア科



主任診療科長
粕田 晴之

超音波診断科



主任診療科長
川井 夫規子

救急科



主任診療科長
加瀬 建一

病理診断科



主任診療科長
尾原 健太郎

Information

おしらせ

第2回済生会宇都宮病院地域連携合同カンファランス開催のご報告

地域の先生方と当院医師の交流及び相互のスキルアップを目的とした『地域連携合同カンファランス』の第2回目を以下の内容で開催いたしましたのでご報告させていただきます。

1. 日 時 平成28年1月27日(水)19時～

2. 症例提示

- 1)『後頸部痛を主訴に来院した2症例』 済生会宇都宮病院 救急科 宮武 諭
- 2)『劇症型溶連菌感染症の一症例』 済生会宇都宮病院 総合内科 泉 学

3. 講演

『くすりはリスク』 NHO栃木医療センター 内科 駒ヶ嶺 順平 先生

第2回目の今回は、連携医14施設の先生方にご参加いただき、症例について貴重なご意見をいただきました。ご参加いただいた先生方にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

当日の様子



i 第3回の地域連携合同カンファランスの開催日時が決まりましたので、ご案内させていただきます。

日 時:平成28年7月12日(火)19時～

場 所:済生会宇都宮病院 グリーンホール

【症例提示】

- 1)「アデノウイルス5型による市中肺炎と診断した一例」

済生会宇都宮病院 呼吸器内科 櫻井 香

- 2)「スムーズな減薬が可能であった高齢者糖尿病の一例～『かかりつけ医』との“連携”から“共生”へ～」

済生会宇都宮病院 糖尿病・内分泌内科 友常 健

【講演】

「治療にヤクダツ呼吸器検査」 済生会宇都宮病院 呼吸器内科 仲地 一郎

「糖尿病診療の最近の話題」 済生会宇都宮病院 糖尿病・内分泌内科 藤田 延也

「とちまるネット」のご紹介



「とちまるネット」が運用を開始して約3年が経過しました。当院においても数多くの患者様を「とちまるネット」に登録し、地域の先生方にご利用いただいております。今回は改めて「とちまるネット」のご紹介をさせていただきます。

●「とちまるネット」とは？

とちまるネットは、患者さんの同意（同意書を取得して）のもと、情報提供施設（病院等）に保管されている診療情報を医療機関の間で共有して診療に役立てる栃木県全域のネットワークです（とちまるネットホームページより引用）。平成28年5月現在、情報提供施設として23、閲覧施設として285の施設が「とちまるネット」をご利用しております。

●具体的には？

インターネットを使用して診療情報を閲覧する事ができるシステムを利用しています。
ネットワークにはセキュリティ対策がされております。

●どんな診療情報を公開している？

公開している診療情報は情報提供施設によって異なります。各施設の情報公開範囲は「とちまるネット」ホームページにて確認ができます。

以下の項目は済生会宇都宮病院が公開している診療情報になります。

放射線画像	エコー画像	内視鏡画像
処方内容	検体検査結果	放射線レポート エコーレポート（一部を除く）
画像、処方、検査結果は平成23年4月以降の情報を公開。		
レポートは平成25年7月以降の情報を公開。		

「とちまるネット」をご利用するには講習会を受講の上、とちまるネット協議会（県医師会内）へのお申し込みが必要となります。

詳しくは「とちまるネット」ホームページ(<http://tochimarunet.jp/>)をご覧ください。

また、既にお申し込みをされているが、使い方がわからないなど、その他ご不明な点等ございましたら、当院地域連携課までご連絡頂ければ幸いです。宜しくお願い申し上げます。

お問い合わせ先：地域連携課 tel:028-626-5595(直通)



